



ノンフレームタイムズ

No.7

治山林道必携 (平成25年度版) に、 ノンフレーム工法が掲載されます！*

林野庁ホームページによると、ノンフレーム工法等の施工実態調査が平成23・24年度にかけて実施され、その結果を元に、参考歩掛として「斜面安定工」が新設されることとなりました。

本歩掛は、平成25年版治山林道必携 (積算・施工編) の「森林整備保全事業標準歩掛」に掲載される見込みです。

※掲載見込みのため、今後変更になる可能性もございます。

林野庁ホームページに掲載された情報によると、今回新たに追加される斜面安定工の施工歩掛は、

4-8-1 鉄筋挿入工

4-8-2 頭部連結併用工

に分離して作成されており(右参照)、鉄筋挿入工については当面の間、国土交通省が定める土木工事標準歩掛の準用となります。

頭部連結併用工は、ノンフレーム工法の頭部連結材取付工に該当し、その適用範囲は「斜面安定のために、鉄筋挿入工 (ロックボルト工) の頭部を支圧板とワイヤーロープで連結する工法に適用する。」と規定されています(ロープネットで連結する工法は適用外です)。

頭部連結併用工の施工歩掛は右表のとおりで、ノンフレーム工法研究会で作成している施工歩掛と同等です。

今回新たに作成された斜面安定工の適用に当たっては、

- さく岩機(レッグハンマ)や自穿孔ロッドを用いるケースは、鉄筋挿入工の適用範囲外
- 支圧板設置工の歩掛は現時点では作成されていません(支圧板取付と頭部処理に分けて、歩掛作成する必要があるためです)

など、ご注意ください。詳しくは林野庁ホームページをご覧ください。

今回、森林整備保全事業標準歩掛にノンフレーム工法の施工歩掛を掲載頂けることとなったのも、治山事業での豊富な施工実績(累計実績70万㎡、500件)に関わられた皆様のご理解とご協力の賜物です。改めて感謝申し上げます。

■ 斜面安定工参考歩掛 新設項目(下線部)

森林整備保全事業標準歩掛

第1編 共通工

第4 共通工(1) (溝渠工・法枠工等)

4-8 (参考歩掛) 斜面安定工

4-8-1 鉄筋挿入工

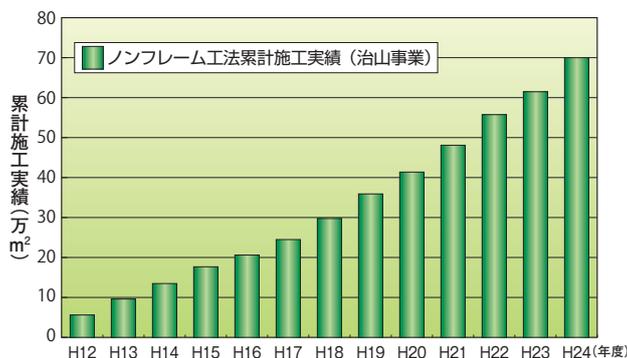
4-8-2 頭部連結併用工

■ 頭部連結施工歩掛

(10本当たり)

名称	単位	数量	適用
世話役	人	0.24	
特殊作業員	人	0.38	
法面工	人	0.77	
諸雑費率	%	3	

■ ノンフレーム工法累計施工実績 (治山事業)



春のノンフレーム工法施工斜面は、 里山の花々であふれています！

祭り「おわら風の盆」で有名な、富山県富山市八尾町。情緒ある古民家が建ち並ぶこの集落では、2年前にノンフレーム工法による斜面防災工事が施工されました。

先日、現地に行った際に撮影したのが右の写真です。民家裏、赤線の範囲内にノンフレーム工法が施工されているのですが、自然植生が回復し、支圧板等も全く目につかなくなっていました。

さらに施工斜面に近づいていくと・・・シャガ(胡蝶花、アヤメ科)群落が一斉に咲き誇る中、ノンフレーム工法の支圧板が見つかりました！

何百輪ものシャガの花が斜面を覆い尽くす中で、ひっそりと斜面を守る支圧板に、しばし感慨を覚えました。

このように、施工後も元々の自然植生が保全できるのも、ノンフレーム工法だからこそですね。



ノンフレーム工法
施工済斜面

ノンフレーム工法施工斜面全景



シャガ(胡蝶花)が一面に咲き誇る斜面を、ノンフレーム工法がひっそりと守っていました。